

定部金貳錢 廣五號十二 告字詰一行 料五十錢 日刊休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常發每日新聞社 電話六三〇番

常新新聞

日刊 印刷所 川崎文治 本社下同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常發每日新聞社

刊夕日四十月二

現代生活と話術 (五)

久留島武彦

かゝる状態の下に吾等の生活が六百年の間續けられて来た故に自己を語る事が出来ないう皮膚の色で語つたのである。「喜び内にあふれば色表に現る」と云ふ様に血の色で語り眼で語つた語るのみならず眼で人を殺すさへ云つた。

口あいて腸の見ゆる蛙哉 物言へば唇寒し秋の風 等と云ひ如何によく語つたにしても雄辯は銀なり、沈黙は金なりと云つてゐる雄

辯の吟味せられたものが銀何等言はざる沈黙が金とせられてゐる、それが尙許されてゐる今日である。斯くして言葉を使はない様になり、眼さへも使はず顔色さへも變ぜざる様になり、それを尊び、神色變せず、眼動かさず是れか東洋の君子と云はれる様になる。君子は容貌愚なるが如し等とされて六百年経過して来たのである。それが維新後政治組織が變革せられ自己を表はす横の生活となり言葉に發表して自己の立場を立てる様になつた。以上の如く傳統的に語らざる様にされて来たのである。現代に於

いても「雄辯は銀沈黙は金なり。」として一般は語るといふ事に對して敬意を拂はない。むしろ侮辱を以て見てゐる如く語る事へ紙に火のついた様にしやべると云ふじやべると云ふ裏には勿論卑しむべき意味が含まれてゐる。此に大いに考へねばなるまい。しかも語ると云ふことは一度語つたことは永久に取返すことは出来ないものである故に大いに吟味する必要があるが言葉の吟味は文章を練るが如く細い注意が必要である



座敷女中 頼みたし

希望の方は至急面談 平町田町 御料理 石川亭 電話四三番

和井屋

漆器 家具 種々取揃へてあります 御越下さい 平一丁目 電話四〇五

躍進!

新發賣の 品質優秀なる イワキ石鹼 半打入 五拾錢 ツルヤ 四丁目 電話百四十番

光線新設

御大典記念事業トシテ 主任 醫學博士 難波 陸

- 一、衛生試験所 (共濟病院内) 十一月一日ヨリ開始
- 二、病氣相談所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始
- 一、救療所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始

◎入院自炊ノ便アリ ◎看護婦見習募集

共濟病院 平町(電話六四二番)

合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

内科 小兒科 (院長毎日診療) 院長 醫學博士 難波 睦 副院長 醫學士 五十嵐雄二

外科 內科部長 中西 林 藏 整形外科 レントゲン科專門 外科部長 醫學士 鈴木 憲 介 (毎日曜手術) 醫學博士 鈴木 退 輔 產婦人科 女子泌尿科 レントゲン科 產婦人科部長 五十嵐雄二 醫學士 川添 正道 顧問 醫學博士 岡 澤 忠 治 共濟會員診察無料 ◎一般患者初診壹圓

本院醫學士 岡 澤 忠 治 本院囑託 法學士 賀 澤 治 本院 主 事 賀 澤 忠 治 (電話七二番)

科外專

花内外 柳臟科 病外一 科科般 (入院隨意)

◎診療時間 (午前八時より午後九時まで) (但し急患は此の限にあらす)

安齋外科醫院

平町田町大通り電話四三六番

耳鼻咽喉科專門

場所 (舊診療所裏通り)

科外專

門線光 × 入院應需

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

名篇映畫巨彈連發

松竹提供映畫... 監督長尾史録 主演 市川右太衛門

何處迄も常開流轉の人生の沙漠を... 父の仇を尋ねるため... 歌川伴侶には血涙 悲壯の日が...

松竹蒲田大作... 監督池田義信 主演栗島すみ子、新川淳、結城一郎

紅い花散る青春の夢... 田舎乙女の戀 と涙の一大交響樂...

日活特作... 義士三部曲の一篇 主演新妻四郎、監督池田富保

不破數右衛門

定評ある新妻の不破數右衛門... 優の自信と確固たる信念絶對の名作

十四日替り 大入満員御 舊五日替り 禮料金普通

平館

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番

セメント 壁用材料 コールタール ベンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舖 平町二丁目(電三)

長者議員選舉 政友派勝つ

四十二票の差 壓倒的優勢振

貴族院多額納税議員の選舉は本日福島市に於て開票の結果左記の如く四十二票の差を以つて政友派根本祐太郎氏が壓倒的勝利を博した

當選 一一五 根本祐太郎(政友派)
次點 七三 大島要三(民政派)

次回に決定

町長後任問題で騒いでゐる四倉町では十二日午後一時町會を開き町長選舉を行はんとしたが各派が自説を固持して譲らず結局次回には必ず決定することを申合せて閉會した

第三小學校 工事請負入札 遣り直ほす

本日午前十時より平町第三小學校新築委員會を役場町長室に開き同工事の請負を入札に附したが豫定工費に合致せず直ちに第二回の入札を執行中である(午後二時)

三月廿五日頃 新入學兒の 體體検査執行

平町の就學兒童數は目下吏石城郡勿來町養鶏組合では組合員に對し餌料の選定に特に注意を施してゐるが未だ産卵と飼料との密接關係を理解する者少くために相當高價な飼料を與へてゐる

養鶏飼料 勿來養鶏組合 厚化粧と美顏術

石城郡勿來町養鶏組合では組合員に對し餌料の選定に特に注意を施してゐるが未だ産卵と飼料との密接關係を理解する者少くために相當高價な飼料を與へてゐる

立木拂下 石城の山間村に 災害救済に關し平營林署で 立木拂下の方を斡旋して 來たがこの程上下小川三坂 川前永戸の五ヶ村に約二百 町歩の立木を拂ひ下げるこ とに決定した

石城郡山間部川前三坂方面の災害救済に關し平營林署では立木拂下の方を斡旋して來たがこの程上下小川三坂川前永戸の五ヶ村に約二百町歩の立木を拂ひ下げることに決定した

大金を遺失 届出がない

石城郡神谷村大字下片寄字立坂西郡忠助は去る十一日午前九時頃自宅から平町新川町に至る途中に於て三百五十圓五十八錢の現金在中ウコン布財布を遺失し平署に届出たが未だ同署には拾得の届出がなく縣下各署に手配中である

擧動不審の男 拾つた十圓 横領して捕る

住所不定若手縣柴波郡見前村字東見前生れ無職篠澤澤鶴藏(四)は去る九日夜半平町松ヶ岡公園を徘徊中平署半澤刑事が擧動不審と認め引致取調べた處去る七日午前七時頃平町長橋町尼子橋北端道路に於てメリンヌ紫色風呂敷に包んだ五圓紙幣二枚は右の方法で襟もより薄め塗布丹刷毛でよく延ばした後ガーゼで水分を取ります。それが濟んだなら頬紅を薄く刷りてほんのりとした櫻色にします斯うすると如何にも生々とした健康の色になりますそこで仕上げとして粉白粉をポットにつけて顔と襟とに刷きその上を軽く叩き後で水刷毛を用ひて浮いた粉をすつかり除いてしまひます。今度は眉のお化粧にかゝります眉のお作りは最もお顔立ちに相應しなくてはならぬのでありませうと流行として長く見せやうとするのは好ましくありません。

草野公衆電話 來月一日開始

石城郡草野村郵便局に新設の公衆電話は三月一日から通話開始する

無錢飲食五圓 東京市本所區緑町公園十號地居 住長野縣生れ膳寫堂外交員 加藤公歡(四)は十三日午後 九時頃平町南町飲食店鹽屋 事西巻與八方に至り五圓分 の飲食を爲しその代金を支拂はず平署に引致さる

無錢飲食五圓 東京市本所區緑町公園十號地居住長野縣生れ膳寫堂外交員加藤公歡(四)は十三日午後九時頃平町南町飲食店鹽屋事西巻與八方に至り五圓分の飲食を爲しその代金を支拂はず平署に引致さる

平町の公有地 無斷で土藏を造る 庭園を築いて居る者もある

平町役場では昨年來公有地の現在調査をなしてつゝあり昨今漸く其の調査の結果を見るに公有地が個人の所有地と同様使用してゐる者が非常に多く中には公有地に土藏を建設し或は庭園を築いてゐる者もある而も其の公有地無斷使用者の大半は資産家であり更に

有力量者 多いので町當局では強硬に出る事も出来ず公有地の整理には相當頭を悩ましてゐるが取敢ず公有地使用者の反省を促す爲めに注意を與へる事になつた

有力量者 多いので町當局では強硬に出る事も出来ず公有地の整理には相當頭を悩ましてゐるが取敢ず公有地使用者の反省を促す爲めに注意を與へる事になつた

唱歌主任研究 石城郡第三區唱歌研究會は廿七日午前十一時より平第一小學校に於て開會平兩小學校外附近十三校の唱歌主任參

唱歌主任研究 石城郡第三區唱歌研究會は廿七日午前十一時より平第一小學校に於て開會平兩小學校外附近十三校の唱歌主任參

集齊藤平第一訓導の研究教授を參觀後田中縣城高等女學校教諭指導の許に教材研究を爲す由

期間経過せば 特典に洩る 營業及び所得の申告 稅務署から注意

厚化粧と美顏術

そこのクリームを塗つて生地をどこのへ襟には白粉下を極薄く引き練白粉を化粧水で薄の板刷毛で塗つて刷毛牡丹でよく延ばします今

募集

以前に生れた者)である四、期間、第三種所得金額乙種資本利子金額の申告は三月十五日限りである前記の控除申請もこの所得の申告と同時に提出すべきものである。若しこの期間を失すると折角與へられた控除の恩恵を受けられない